

悲しい街シマドゥ

歌：大石敦士

ここはシマドゥ
悲しい街
風にそよぐ木々に生氣はない

電車のドアが開いたら
たちまち屍の山となる

街を歩くと紫色した人肉が
まばらに通りをうごめいている

全てはあの雲まで
そびえ立たんとする悪魔の塔
そうそれはこの街の
支配者の果てしない煩悩

いつの日にかこの街にも
フローラルな香りを
そう願い続ける街人は
今日もまばらにうごめく

